書《我獨異於人》1975(昭和50)年／《舞妓図》1968(昭和43)年

異端

―異端の日本画家・中村正義に魅せられた
熱狂的コレクターがいた―

小松コレクション 中村正義展

2014年12月2日【火】～2015年2月8日【日】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日・12月29日～1月3日
会　場	豊橋市美術博物館2階展示室
観覧料	無料

豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY

日展を脱退し、日本画の異端児と称された中村正義（1924～1977）には、画風を一転させて画壇の中で孤立した後にも熱心な支援者がいました。自己を貫き通す激しい生き様に共鳴し、その過激な作風に魅了されたコレクターは多々いますが、なかでも福島県の故・小松三郎氏は、秀逸なコレクションを築いたばかりでなく、正義作品を中心に展示する「いわき近代美術館」を昭和58年に開設するなど（現在は閉館）、正義没後もその画業を世に残そうと尽力しました。

画家とコレクターの出会いは正義の没する4年前、病と闘いながらも人会や東京展を発足し、残されたわずかな時間を燃焼するかのように奔走した時期にあたります。そのため、晩期の代表作や絶筆がコレクションの核となりましたが、そのほかにも自画像や顔シリーズ、裸婦、仏画、薔薇、水墨画、墨書など、その収集内容は多岐にわたっています。このたびの展覧会は小松氏ご遺族の協力を得て、56点の中村正義作品をまとめて紹介するはじめての機会であり、現在は豊橋市美術博物館が所蔵している旧小松コレクションの《おそれA》《おそれB》《舞妓》《うしろの人》もあわせて展示し、一人のコレクターの眼を通してとらえた中村正義の魅力に迫ります。

《日月》1972(昭和47)年／《顔》1976(昭和51)年／『坊っちゃん』挿絵1969(昭和44)年／《自画像》1955(昭和30)年

《裸婦之図》1972(昭和47)年／《花》制作年不詳／《陽》1969(昭和44)年

◆美術講座「中村正義の魔力」

大野俊治（豊橋市民文化会館館長）12月6日(土)午後2時～（於1階講義室）

◆ボランティア・トーク

12月9日～28日、1月4日～2月8日(木・土曜日を除く毎日) 午後1時半～、2時半～

◆映画上映「父をめぐる旅」

1月10日より毎週土曜日 午後2時～（於2階ラウンジ）

◆友の会土曜サロン

対談／田島征三（画家）×中村倫子（中村正義の美術館館長）
12月13日(土)午後2時～（於1階講義室／要電話申込 0532-51-2882）

◆冬のワークショップ

対象／小学生各24名　参加料／無料（於1階講義室）

①まさよしの「顔」で福笑い 2月7日(土)午後1時30分～
中村正義の顔作品より目・鼻・口のパーツを抜き出してばらばらにし、組み合わせて「顔」をつくります。

②コレクターのきもち「自分の美術館をつくる」 2月8日(日)午後1時30分～
正義の作品の小さな図版のなかから好きな作品を集め、箱の中に自分だけの美術館をつくります。

※申込＝12月2日より電話受付（0532-51-2882）

豊橋市美術博物館
〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1（豊橋公園内）
TEL.0532-51-2882　FAX.0532-56-2123
http://www.toyohashi-bihaku.jp/

〈交通案内〉
JR・名鉄「豊橋」駅前より市電乗車、「豊橋公園前」下車、徒歩3分